

(天位)

◇望来の夕陽ふくらむ花野かな 岩見沢市 石井 国夫

(地位)

◇石狩の河幅豊か夕陽抱く 福島町 池田 栖歩
◇つなく手も繋がれる手も夕焼て 小清水町 久保 信和
◇夕焼の地球どこかが焦げくさし 札幌市 宮脇 木脩
◇海原の夕陽一点馬冷す 札幌市 猪俣 総恵
◇しまひには夕陽掬はむ捕虫網 石狩市 坪田 正光

(人位)

◇捕虫網大き夕陽を捕らえけり 東京都 野村 信廣
◇踏ん張りて転びて仔馬遂に立つ 清水町 西川 勝仙
◇海難碑向きし沖より土用浪 小清水町 久保 信和
◇夏の花沈みながらぬ夕陽かな 北広島市 佐藤 正文
◇からびたる浜の廃船夕焼けり 歌志内市 横山 冬青
◇父の背に負はれ夕陽を追ひし夏 稚内市 静間 典子
◇夕陽背に汗の野良着の塵はらう 訓子府町 北野 ミサオ
◇漁師妻夏至の夕陽をまだ使ふ 日高町 遠藤 孝明
◇朱夏の海夕陽呑みこむ大器かな 石狩市 日下 久翁
◇鉄塔で夕陽見ている鴉の子 訓子府町 小林 昭子
◇望郷の歌碑を染め抜く夕陽かな 大阪府 阪口 桂香
◇廃校舎子らの声なく夕陽染む せたな町 弦巻 淳
◇石狩や夕陽浪立つ夏至の海 羽幌町 川平 康雄
◇玫瑰や夕陽の砂丘ひと色に 札幌市 加藤 弘美
◇一湾に灯をちりばめてキャンプ村 札幌市 加藤 弘美

(佳作)

◇蝉時雨残して沈む夕陽かな 札幌市 金森 鯉童
◇花冷えや夕陽の中に昭和見ゆ 名寄市 竹澤 純子
◇農を継ぐ定め炎天のしかかる 豊浦町 中谷 真風
◇苔鎧ふ水車夕陽をはじきをり 小樽市 佐々木 順子
◇すずらんを摘みて夕陽に染まりけり 石狩市 幸地 加代
◇※はまなすと同じ目線でみる夕陽 稚内市 工藤 真人
◇夕陽のせ河口に跳ぬる鮭の影 北広島市 水口 茂
◇大日輪の落ちる一刻夏野揺れ 石狩市 小泉 千孝
◇夕陽抱き海は太古のままうねり 札幌市 石川 清
◇沈む夕陽見つつまどろむ番屋の湯 石狩市 堤 木偶
◇鬼灯を束ねて夕日暮れのこる 広尾町 伊藤 貞子
◇ほろほると夕陽をこぼす女郎花 広尾町 伊藤 貞子
◇逝く夏や石狩川は夕陽浴び 埼玉県 横川 俊夫
◇一湾の夕陽に紡ひ孟蘭盆会 札幌市 板本 敦子
◇夕焼けの河口とよもし鮭遡る 札幌市 板本 敦子
◇卯浪立つ夕陽まみれの水平線 古平町 渡辺 嘉之
◇夕焼雲うすれ漁火灯り出す 札幌市 氣田 和子
◇逆光の夕陽滴る水着かな 蘭越町 石坂 寿鳳
◇夕陽浴びいつまで泳ぐ浜の子ら 雨竜町 有田 茉莉
◇穴子突く夕陽ぐらりとまだ少女 旭川市 杉野 秋耕死

【選者】

小西 龍馬 氏 (北海道俳句協会顧問)

横山 いさを 氏 (縦俳句会代表)